

多摩丘陵病院ニュース



財)日本医療機能評価機構の認定について

■病院機能評価とは？

病院機能評価は、病院が質の高い医療の提供をめざし、病院の機能を第三者機関が中立的に評価を行うものです。このたび、多摩丘陵病院は、第三者機関である財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価(バージョン5)の認定を受けました。評価の小項目数は791項目と多岐にわたる審査基準となっています。

同評価機構は、次の7つの領域を評価しています。

①第1領域 病院組織の運営と地域における役割

病院の基本方針と中・長期計画や病院全体の管理体制、情報管理機能の整備、地域の保健・医療・福祉施設との連携等について評価します。

②第2領域 患者の権利と安全確保の体制

患者の権利の尊重や患者に十分な説明を行い、同意を得る体制の確立、患者の安全確保の体制等について評価します。

③第3領域 療養環境と患者サービス

来院者への接遇と案内、患者・家族の医療相談の体制やプライバシー確保への配慮、療養環境の整備体制等について評価します。

④第4領域 医療提供の組織と運営

診療、看護、コメディカル、手術・麻酔、救急、診療録管理や外来など、院内の各部門の組織運営を「人員・施設設備」「教育」「運営・手順」「業務改善の仕組み」等の面から評価します。

⑤第5領域 医療の質と安全のためのケアプロセス

病棟における医療の方針と責任体制、入院診療の計画的対応、患者に関する情報の収集と伝達、評価と計画、ケアの実施、ケアプロセスにおける感染対策、診療・看護の記録、病棟での環境と薬剤・機器の管理について評価します。

⑥第6領域 病院運営管理の合理性

人事管理、財務・経営管理、施設・設備管理等の合理性と適切性や、訴訟等への適切な対応等について評価します。

⑦第8領域 療養病床に特有な病院機能

療養病床を有する場合に、療養病床に特有でかつ重要な機能を評価します。

■認定の意味

全国的にも一定水準以上の医療機能をもつ病院との評価を受けたものであり、患者さんや地域住民の方が安心して選べる医療機関として認定されたものといえます。また、病院の全職員が一丸となって病院機能評価受審に向けて取り組んできたことは、現状の客観的把握はもとより、病院の活性化、職員の意識改革などに大きな成果であったものと考えています。

■認定病院の状況

全国8,832病院(2008年3月末)のうち、2,558病院(全病院の約29%)が認定されており、都下では193の病院が認定(6月5日現在)を受けています。(町田市では、3病院目となります。)

■最後に

病院機能評価は、認定を受けることが目的ではなく、認定を契機として、日々の業務改善を行い、良質な医療や患者サービスを提供していくことが重要です。今後とも多摩丘陵病院の基本理念である「生きる力を支え合い、ぬくもりのある医療と看護を提供します」に努めてまいります。



多摩丘陵病院ニュース

当院の婦人科がリニューアルして数ヶ月が立ちましたが、まだ、ご存じでない方へ、写真による紹介をさせていただきます。（下記の写真の通り、ピンク系の色で統一し、診察時間内は、BGM（音楽）も流すようにしました。）

婦人科 待合室



婦人科 受付



診察室・待合室を、脳神経外科外来のとなりから、生理機能検査室の奥に移設し、他の外来待合室と、分けしましたので、落ち着いた雰囲気の中での診察待ちが可能となりました。

また、8月からは、火曜日の午後の診察も開始となり、月曜・火曜日・水曜日は、午前・午後とも診察が可能となりました。ぜひ、ご利用下さい。

ソクラテスの人事

こういう名前のテレビ番組がありますが、なかなか考えさせてくれるものがあります。企業の人事採用担当者が、タレントたちの議論や発言などを見ながら採点し、採用不採用を決定する、さらに最終人事として、将来社長にしたい人も選ぶというもので、その企業にどのような性格や考えを持った人が必要かを説明してくれる。会議で発展性のある現実的な発言で内容のある進行を進めてくれることや、色々の人の意見を対等に出してくれて、自分だけでしゃべらないとか、会議の出席者の意欲を引き出してくれるなどは大事な資質といえる。さて、われわれ医療者の就職についてはどうだろうか。医者も看講師も人手不足でどこでもぜひ来てくださいという状況にある。そこで人事担当との話し合いは、給料と勤務条件ということになり、就職するほうにとって有利な立場で、自分の好きな提示をして、よっぽどの無理な要求で無い限り、それが通ってしまう。そのような業種にいる我々が、ソクラテスの人事を受けた場合を考えると、採用されるだけの資質があるだろうか。売り手市場の傲慢さで、見向きもされないのではないか。医療職は、一般の企業以上の人間性と倫理観が必要な仕事です。傲慢さがあるてはできない仕事です。仁と愛が不可欠の仕事です。人々に対する慈しみと思いやりがなければできない仕事です。その前に社会人としての常識と、グループの中での自分の役割をきちんと取れるかということは基本的な資質ということは疑いのないことだと思います。ソクラテスの人事に合格できるような自分に磨いてゆきたいものです。

_2009-7024

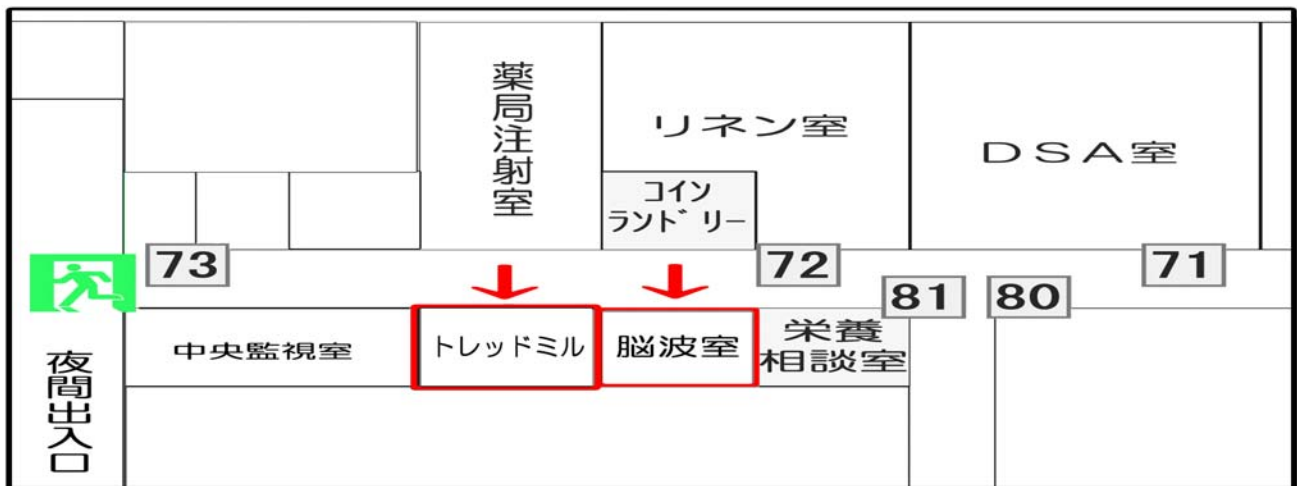
多摩丘陵病院 副院長 野瀬 純

多摩丘陵病院ニュース

脳波室・トレッドミル室移動の件

移動日：12月1日（火）より

移動先：下図の通りとなりますが、検査をお受けになる際、おわかりにならない場合は職員におたずね下さい。



ハッピーライフ講座（メタボ克服術—食事の面から）

多摩丘陵病院 栄養科 科長 原 純也

当院では、ハッピーライフ講座と銘打って、健康に関する話を当院の職員により行っています。今回は、「メタボ克服術—食事の面から」を紹介致します。

- ① メタボリックシンドロームは、内臓脂肪型肥満によって、様々な病気が引き起こされやすくなった状態を言う。
- ② 内臓脂肪型肥満にならないための方法
 - ア) 主食1品・主菜1品・副菜2品を毎食とるよう心がける。
 （主食・・・米・パン・めん類など、主菜・・・魚・肉・大豆製品・卵など、副菜・・・主に野菜）
 - イ) 汁物は、1日1品以下とする。（塩分が多いため）その代わりに牛乳や乳製品・果物を1日1回はとる。
 - ウ) 野菜は1日 目標 350g 以上摂取する。（内訳；緑黄色野菜 3分の1量：淡色野菜 3分の2量）
 （緑黄色野菜と淡色野菜の分けられ目は、カロテンの含有量です。カロテンは、老化や生活習慣病の原因になる活性酸素の害を防ぐ働きがある栄養素です。厚生労働省の基準では、原則として可食部 100g 当たり、カロテンが 600 μ g 以上のものを緑黄色野菜としています。なすやきゅうりなどのように、一見色の濃い野菜に見えても、実の色は薄く、カロテンが少ないものは淡色野菜です。）
 - エ) 適度な運動・・・例；1分間で106歩以上ウォーキング（3METS以上）を1時間目標・テーブルスクワット（イスを利用して、5～10回立ち上がったたりしゃがんだりする。）などの簡単な筋肉トレーニングを取り入れる。